学校番号	３０５

令和三年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　国語表現」（第一学習社）						
副教材等	「イラストとネットワーキングで覚える　現代文単語　げんたん　改訂版」（いいずな書店） 「小論文実力養成講座　ステップアップ小論文」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

副教材「小論文実力養成講座　ステップアップ小論文」を併用して、論理的に物事を考え、表現できるよう活動をしていく。
文章を読んでその主旨を要約し、さらにはその主旨に対する自分の意見をまとめ、また人の意見を批判的に聞くことができるようにする。

2　学習の到達目標

小論文教材を使って、適切かつ効果的に自分の考えを表現する能力を習得する。
各自が自分の意見を伝え合うことで、さらに思考力や想像力を伸ばし、言語感覚に磨きをかける。
また、表現する場を数多く経験することによって国語力を向上し、社会で生きていく力を身につけることを目標とする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現により文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検	行動の観察	行動の観察 記述の確認及び分析	行動の観察 記述の点検 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	表現の基礎	文章の書き方 わかりやすい表現	○ ○		◎ ◎	○ ○	a:言語で伝えることの重要性を理解し、意欲的に取り組んでいる。 c:適切な表現の仕方で書こうとしている。 d:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 c:記述の確認及び分析 d:記述の点検・・小テスト及び定期考査
	付録	原稿用紙の使い方	○		◎	○	a:原稿用紙を正しく使えるよう意欲的に取り組んでいる。 c:原稿用紙を正しく使って文章を書こうとしている。 d:縦書き、横書きともに原稿用紙の正しい使い方を理解している。	a:行動の観察 c:記述の確認及び分析 d:記述の点検・・小テスト及び定期考査
	表現の実践(四)	課題作文を書く(自己 PR 文)	○		◎	○	a:自分自身を見つめ、ＰＲするためにふさわしい文体や語句・表現の技法を工夫しようとしている。 c:課題作文の書き方を理解し、明確な自己アピールとなる文章を書こうとしている。 d:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の確認及び分析 d:記述の点検・・小テスト及び定期考査
		小論文を書く	○		◎	○	a:自分の意見を相手に伝えるために意欲的に取り組んでいる。 c:説得力のある文章を書こうとしている。 d:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 c:記述の確認及び分析 d:記述の点検・・小テスト及び定期考査

後期	表現の実践㈣	要約する	○		◎	○	a:もとの文章の内容を相手に伝えるために、意欲的に取り組んでいる。 c:もとの文章の主題を押さえ、的確な表現で書こうとしている。 d:わかりやすい文章の組み立てについて理解している。	a:行動の観察 c:記述の確認及び分析 d:記述の点検・・小テスト及び定期考査
	表現の実践㈠	記録文を書く	○		◎	○	a:正確な記録となるよう丁寧に取材に取り組んでいる。 c:記録文の書き方に沿って、記録文を書こうとしている。 d:記録文の特徴と基本的な書き方を理解している。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の確認及び分析 d:記述の点検・・小テスト及び定期考査
	表現の実践㈢	ディベートをする	○	◎		○	a:社会に目を向け、幅広く資料を調べ、物事を理解しようとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明しようとしている。 d:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察・記述の点検 b:行動の観察 d:行動の観察
	表現の探究	時間の見方を変えるとき	○	◎		○	a:論理的な文章を読み、ものの見方や考え方を広げようとしている。 b:論理的な文章を読み、その優れている点を話し合う。 d:論理的な文章の構成や論証の仕方を自分の表現に役立てている。	a:行動の観察・記述の点検 b:行動の観察 d:記述の点検

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。